

くすやま美紀(樟山みき)活動報告



2019, 6, 13 NO. 251

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170

区議会控室 3312-2111(内)2319

樹木の保全、土壌問題、学校跡地の高層ビル 阿佐ヶ谷北東地区まちづくり計画の問題点を追及

6月7日の区議会都市環境委員会に、阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくりに関する「計画案」と「地区計画素案」が報告され、くすやま美紀が問題点を追及しました。

けやき屋敷の緑も樹木も大幅削減 都の条例は「樹木は残す」が原則

計画案では、河北病院の移転先用地であるけやき屋敷は、樹木も緑も大幅に削減することが明らかにになりました。

けやき屋敷は、区の緑地保全方針で「みどりの保全地区」「みどりの顕彰 表彰屋敷林」に指定されています。都の「自然の保護と回復に関する条例」では、保全地区の樹木は、すべて残すか計画地内に移植が原則とされています。この点を質すと、区も否定できませんでした。

区が示した樹木保存範囲



樹木の保全敷地は総面積の約16%と答弁

緑化率
25%

けやき屋敷の現状



航空写真 Google マップより



区発表 緑被分布図

計画の概要 けやき屋敷に河北病院を移設し、病院跡地に杉一小を移設。杉一小跡地には13階建て高層ビルを計画。

保全敷地は16% 本数は答弁せず
緑地は25%に削減へ



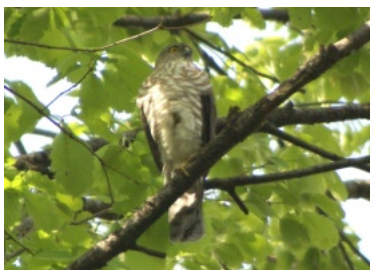
けやき屋敷内に掲示された杉並区の掲示板

計画案では、樹木の保全敷地は総面積の16%に過ぎません。現在の樹木本数は一〇〇本余と答えましたが、何本残るのかについては明らかにしていませんでした。

緑地についても、現状では屋敷部分を除き大半が緑で覆われていますが、計画案では緑化率は25%に削減。大幅後退であり、区が定めた緑地保全方針に逆行するものと批判しました。

希少動物「ツミ」の生息確認 伐採は原則禁止も 計画の見直しは不可避

区は、けやき屋敷で、希少動物ツミの生息が2回確認されたと答弁。オオタカの扱いに準じているとも答弁しました。



ツミはタカの仲間、保護の対象になっている希少動物。

都の条例では、希少な猛きん類が生息している地域での伐採の禁止や、建物は樹木で覆う必要がある等、厳しく制限されています。このまま計画を進めることは許されず、見直しは避けられません。

お困りごと、ご相談は、上記連絡先まで、お気軽にお電話ください

区は汚染調査実施せず 汚染発覚恐れてか？

課題にしなから調査せず

杉一小を移転しようとする河北総合病院敷地の、医療廃棄物による汚染の可能性に不安が高まっています。

子どもの安全にかかわる問題でありながら、区は調査を実施していません。

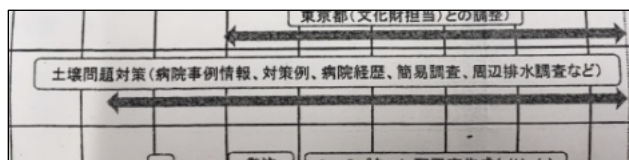
質疑で「党区議団が開示請求した区の資料（下写真）には、移転決定前に汚染調査の記載があったではないか」と追及

区は「想定だけで、調査はしていない」と答弁しました。汚染が発覚した場合を恐れて調査をしなかったのではないかと想定されます。

汚染の有無も明確にせず、土地交換を決めることは許されません。土壌問題について取り組む姿勢が極めて消極的であり、区民に隠そうとする態度は不誠実だと批判しました。



都市環境委員会で、けやき屋敷の写真を掲げて質問。



土壌汚染問題の調査課題を示した区の文書

■汚染が懸念される河北病院の設備、使用薬品など

- 体温計（水銀）
- レントゲン（銀、ほう素、ふっ素）
- 井戸
- ボイラー（油類）
- 焼却炉（ダイオキシン類）
- 使用薬品
- その他（感染症廃棄物）

杉並区「河北総合病院における土壌汚染問題対策について」より（2017年1月）

■病院跡地での土壌汚染事例

- 文京区東大付属病院跡地で、水銀（基準値の14倍）、鉛（基準値の5倍）を確認。「医薬品等が何らかの原因で流出して土壌が汚染されたと考えられます」（平成20年12月 東京大学）
- 大阪府立急性期・総合医療センターで調査を実施した結果、過去の建物の地階部分、地中土壌から基準値の1.6倍の砒素、1.7倍の鉛を検出。（平成28年11月地方独立行政法人大阪府立病院機構）

杉一小移転後の高層ビルに商業施設誘致

区は否定せず

杉一小の移転跡地には、高さ60メートル、13階建てのビルが計画されています。現在の西友なども超える高層ビルです。



杉1小跡地活用イメージ図（区の資料から党区議団が作成）

区は、これまでの文書で「集客力の高い商業施設などを誘致する」としてきましたが、区民からは「商業施設の高層ビル建設は不必要、商店街が衰退しており、商店街を活性化することの方が大切」等、懸念の声が寄せられています。

「商業施設を誘致するのか」との質問に、区は否定しませんでした。

樹木の保全、土壌問題、杉一小跡地の施設など、住民説明会では、区民から批判の声が多数上がりました。問題点を明らかにしないまま計画を進めることは許されず、再検討すべきと求めました。